

第4期鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）区（全体）計画 素案に関する区民意見募集の実施結果について

鶴見区では、第4期鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）の策定にあたり、素案に関する区民意見募集を実施しました。区民の皆さまから貴重なご意見・ご提案をいただき、ありがとうございました。

実施結果といただいたご意見への対応の考え方をまとめましたのでご報告いたします。

1 実施概要

(1) 実施期間

令和3年11月20日（土）から12月28日（火）まで

(2) 周知方法

ア 素案の配布

鶴見区役所福祉保健課（2階11番窓口）、鶴見区社会福祉協議会及び区内地域ケアプラザ・地区センター・コミュニティハウスなど

イ 関係団体等への情報提供

区自治連合会、区民生委員児童委員協議会、区保健活動推進委員会、区社会福祉協議会会員等

ウ 広報よこはま鶴見区版12月号、区ホームページへの掲載等

電子メール、市ホームページからの電子申請(QRコードより)

2 実施結果

(1) 意見総数

総計37件（区民11人からの意見37件）

(2) 目的別意見数

目的	意見数
計画全体に関すること	9件
第3期計画の振り返り	9件
第4期区全体計画の概要、策定経過について	2件
推進の柱①「つながりのある地域づくり」について	1件
推進の柱②「必要なときに支援が届く地域づくり」について	1件
推進の柱③「健やかに暮らせる地域づくり」について	1件
推進の土台「人材」（未来の担い手づくり）について	1件
区役所・区社協・地域ケアプラザの取組について	2件
計画を推進するための体制・支援について	1件
コラムについて	2件
その他	8件

3 意見の主な内容と意見への対応の考え方

(1) 対応分類別意見数

分類	項目	御意見
①	計画案に反映するもの	3件
②	ご意見の趣旨が素案に含まれているもの、または賛同いただいたもの	3件
③	計画に関するご質問・ご意見など	19件
④	計画の推進の参考とさせていただくもの	11件
⑤	その他ご質問など	1件

(2) 対応分類別 意見と対応の考え方

分類	主な意見の内容	意見への対応の考え方
①	素案の4ページ、「推進の柱2」【具体的な取組】3つ目の項目について、福祉教育とは一般的過ぎて何のことか分かりません。	「福祉教育」とは、学校の授業や企業の研修・一般市民の生涯学習など、幅広く社会福祉について学習することです。ご意見を踏まえて、該当箇所の文言を修正しております。（本編冊子P6 参照）
①	素案の10ページ、推進の柱1のリード文について、5行目の「これまで以上に多様な主体が～」の前に「企業・学校・NPO法人など」を追記してはどうか。	ご意見を踏まえて、該当箇所の文言を修正しております。（本編冊子P12 参照）
①	市民自らの健康づくりのために、「健康手帳」の活用よびかけをお願いします。 健診を受け、自らの健康データを健康づくりに活用することが重要と考えます。 (健診について) ・「がん検診と特定健診のセット受診」よびかけをさらに強めること。 ・認知症の早期発見へ「もの忘れ検診」の普及の記載を望みます。	認知症の早期発見等のための「もの忘れ検診」について、文言を追加しております。（本編冊子P22 参照） その他のご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。
②	素案の5ページ、【次期計画に向けて】「推進の柱3」2つ目の項目について、この問題意識は重要です。	「推進の柱③」のコラムにて、生活習慣改善の取組について掲載し、区民の意識啓発に努めてまいります。
②	充実した素案作成に敬意を表します。	このたびいただいたご意見を踏まえ、第4期計画の推進を行ってまいります。

②	<p>この計画・活動をすることによって、「どうなることが成功」なのか、数字などで目標を提示してみるとわかりやすいと思います。</p> <p>例えば素案の24ページの図で、「近所との関わりが薄い層を50%以下にする事を目標とし達成した」など過去の活動実績を交えた計画があると、より活動が見えてきやすいかと思えます。</p>	<p>第4章-5において、第4期計画の評価指標を示しております。</p>
③	<p>町会に所属していない一般の方達に、お互いさまのつながりが地域では大切であることを広める計画にしてほしい。</p>	<p>本編冊子とは別に、概要版を作成しております。住民に広く周知できるよう努めてまいります。</p>
③	<p>新型コロナ（感染症対策）について、どの柱でも良いのでコラム等で取り上げて欲しい。</p>	<p>本編冊子では、コラムの中で、地域のつながりにおけるコロナ下の影響やコロナ下でも工夫して行われた地域活動事例等について紹介しております。</p>
③	<p>全体的に重複した箇所が多く、大胆なカットが必要です。</p>	<p>さまざまな読者がおられることを想定し、できる限り分量を抑えながら、より見やすい工夫をしております。</p>
③	<p>各「推進の土台」のページの「2. 活動を通じた気付き」の内容が散漫。また、「3. 自分で、地域で、始められる種まき（活動）」はの「自分で種まき」はどんな読者を対象としているのでしょうか？</p>	<p>「2. 活動を通じた気付き」については、地域住民や関係機関・団体からの御意見を掲載しております。</p> <p>「3. 自分で、地域で、始められる種まき（活動）」の「自分で種まき」は、これから地域活動に携わる方が取り組むきっかけになる内容を掲載しております。</p>
③	<p>コラムを多く取り上げるようだが、取り上げた事例を他地区で普及させるためには、その活動が生活している条件や過程を明示することが必要だと思います。</p>	<p>本編冊子では、コラムの中でさまざまな地区の取組を紹介することで、区民にとってより身近な計画となるよう構成しております。</p>
③	<p>区役所の取組、区社協の取組、地域ケアプラザの取組について、内容が膨大なため、効率的な実施すべきことに重点化し、具体的な事業、取組を掲載してはどうか。</p>	<p>地域福祉保健における取組が多岐にわたることを踏まえ、さまざまな事業・取組を掲載しております。本編冊子では、コラムを掲載し、事業・取組が分かりやすくなるよう構成しています。</p>

③	<p>コロナ禍における協働の進め方等、時代背景を記述した方がよい。例えば、素案の7ページの5行目、「第3期計画の基本的な考え方を継承しながら、現下のコロナ禍で、『人の役に立ちたい住民が多い自治体ほどコロナの死亡率が低い』（注）ことに留意し、推進の柱の行動目標等の一部見直し…（略）」としてはどうか。</p> <p>（注）東京都健康長寿医療センターの研究成果による</p>	<p>本編冊子では、コロナ禍における協働の進め方、時代背景等の記述について、コラムに掲載しております。（本編冊子P4コラム 参照）</p>
③	<p>素案の6ページ、第4期区全体計画の概要について、（1）基本理念・推進の柱の継承の説明文の後に「また【基本理念】はたすけあい・支えあい・人と人のネットワークとします。」を追記し、図は削除してはどうか。</p>	<p>区全体計画のイメージを示すイラストを掲載することで、第4期区全体計画の構成がより分かりやすくなるよう工夫しております。</p>
③	<p>素案の7ページ、第4期区全体計画の策定経過について、P8・9第4期計画の方向性と内容が重複しているため、これらを統合し、第4期計画の方向性のページは後述と重複するためカットしてはどうか。</p>	<p>計画策定の過程と第4期計画の方向性のそれぞれを丁寧に伝えたいと考えております。</p>
③	<p>「推進の柱」と「推進の土台」が交互に出てくるので、読みづらいです。なので、「推進の土台1」、「推進の土台2」、「推進の土台3」としたほうがよい。</p>	<p>「推進の柱」に比べ、「推進の土台」は、すべての地域活動を充実させる“共通の要素”と定義しております。</p>
③	<p>前半は概要、活動内容、目的などの文章でしたが、少し具体的にイメージしづらく感じました。第5章で図示が出てきてわかりやすかったです。</p> <p>活動内容はなんとなく理解できますが、テーマが同じなので、資料にメリハリがなくずっと同じ内容を読んでいるように感じてしまいました。</p>	<p>本編冊子では、イラストやコラム等を盛り込みながら、より読み進めやすい内容となるよう工夫しております。</p>

③	<p>素案の4ページ、「推進の柱1」 【具体的な取組】1つ目の項目について、性格の違う取組が恣意的に列挙されていて違和感がある。また、それぞれの具体的な取組内容や成果はいかがでしたか。</p>	<p>さまざまな取組が幅広く行われてきたことを説明しております。成果につきましては、本編冊子のコラムに掲載しております。（本編冊子P7参照）</p>
③	<p>素案の4ページ、「推進の柱1」 【具体的な取組】2つめの項目について、進めた内容や具体的成果を説明できますか。</p>	<p>地域福祉保健の関係者間での顔の見える関係づくりを継続してきたことを記載しております。</p>
③	<p>素案の4ページ、「推進の柱1」 【具体的な取組】3つ目の項目について、学校等との連携の実態を具体的に説明できますか。また、取組を行った結果の担い手の増加を数量的に検証できますか。</p>	<p>認知症サポーター養成講座等で、地域団体との連携に基づく取り組みがあり、福祉教育も踏まえ学校との連携にも広がりつつあります。担い手の増加につきましては、第5章において認知症サポーター等の数について掲載しております。</p>
③	<p>素案の4ページ、「推進の柱2」 【具体的な取組】1つ目の項目について、配食と買い物支援の具体的実態はどうだったのですか。またこれらは誰とネットワーク化されているのですか。</p>	<p>高齢者等への配食やサロン等の活動をあわせた見守り、個人商店や地域作業所等による出張販売を中心とした買い物支援など、地域におけるさまざまな取組が広がってきております。</p>
③	<p>素案の4ページ、「推進の柱2」 【具体的な取組】2つ目の項目について、「6か国」以外のわかりやすい日本語による情報発信はあったのですか。</p>	<p>例えば、区の発行する各生活便利情報において、多言語版以外にもやさしい日本語版を作成する等の取組を行っております。</p>
③	<p>素案の4ページ、「推進の柱3」 【具体的な取組】1つ目の項目について、第2期と比べて拡充は図られたのですか。</p>	<p>自治会町内会圏域でのサロンや元気づくりステーション等につきましては、本編冊子のコラムにて取組を紹介しております。（本編冊子P21、28等参照）</p>
③	<p>素案の4ページ、「推進の柱3」 【具体的な取組】2つ目の項目について、第2期と比べて拡充は図られたのですか。</p>	<p>ウォーキング、グラウンドゴルフ等さまざまな場・機会をとおした交流が各地区で進んでいます。また、各地区における生活支援ボランティアの活動も広がっています。</p>
③	<p>つるみ区民活動センターとの関わりはありますか。</p>	<p>つるみ区民活動センターについて、「推進の柱①」区役所の取組に記載しているとおり、特に地域活動の担い手の支援・育成等を進めることで、計画推進に寄与するものと考えております。</p>

④	<p>人材、相互理解、場・機会のそれぞれの「自分で、地域で始められる種まき」は、あまり差がなく感じられ、それぞれの特徴を捉えにくかったのですが、この活動が実現できたら良いと思います。</p>	<p>ご意見は、計画推進の参考とさせていただきます。</p>
④	<p>素案の第3章、34ページ～39ページは、知らなかった地域支援のことが載っていたので（例えば専門のアドバイザーを地域活動団体に派遣している等）勉強になります。</p>	<p>ご意見は、計画推進の参考とさせていただきます。</p>
④	<p>人材（担い手）について、子どもや青少年の参加・関わりは非常に大事なことだと思う。地域で進むと良い。</p>	<p>ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。</p>
④	<p>健やかに暮らせる地域づくりの取り組みでは、多くの区民の社会参加を増加させるためには、様々な機会や場づくりを企画運営、協力していく地域人材の発掘や育成に早急に取り掛かる必要があると思われます。社会教育に関する専門家の活用もご検討ください。</p>	<p>地域における人材の発掘・育成に向けて、引き続き取り組んでまいります。ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。</p>
④	<p>行事があると人が動くので、多くの部署を巻き込んで（次年度の）計画をするのが良い。</p>	<p>ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。</p>
④	<p>住民のコミュニケーションを構築する上で、このコロナ禍で浮かび上がった大きな問題の中のひとつに「孤独」があります。そこで、地域で直接会う機会を作るべく、誰でも気軽に入りやすいオープンカフェを設置する事を提案致します。このような施設を住民が楽しく利用する事が出来れば、自然と地域の暮らしをよりよくするアイデアが生まれ、自主的に清掃活動をしようとか、見回りをしようとかの活動が生まれ、地域が活性化する可能性があるかと思われれます。</p>	<p>身近な場・機会での居場所づくりに向けた、具体的なお提案をいただいております。ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。</p>

④	医療と介護のネットワーク「サルビアねっと」との連携についてはどうなりますか。	区役所において、普及に向けた協力を進めております。ご意見は、今後の区政の参考にさせていただきます。
④	施設に入居する方の家族に連絡したいが、個人情報のことで教えていただけないケースがある。地域として交流したい。	ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。
④	隣接する港北区・神奈川区・川崎市との交流も計画してほしい。	ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。
④	男性高齢者の力が埋もれているのではないのでしょうか。「男性高齢者の意識・要望をつかむ調査」を実施し、男性向け企画を様々企画し、その「出番づくり」を期待します。	引き続き、地域住民と関係団体・機関で連携しながら、担い手づくりに取り組んでまいります。ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。
④	<p>(1)現在ある「制度が知られていない」のが最大の問題と考えます。制度紹介の方法として次の検討をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「制度紹介ポスター」をシリーズとして作成し、自治会町内会の掲示板に貼り出し、掲示終了後は、町内会館で保存活用できるようにする。 ・同じものを、区のホームページと市政だより区政版に掲載する。 <p>(2)安心のまちづくりには、身近な場で「なんでも相談」できる機会があることが一番ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザで「定期的ななんでも相談」を受けられるのがよいのではないかと思う。まずは「週1回でも電話相談」からでも始められないのでしょうか。 	具体的なご提案をいただき、ありがとうございます。ご意見は、計画推進の参考にさせていただきます。
⑤	マイナンバーと健康保険証の進捗状況について知りたい。	マイナンバーカードの健康保険証としての利用につきましては、厚生労働省ホームページ「マイナンバーカードの健康保険証利用について」 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html (外部サイト)をご参照いただくか、国が設置する「マイナンバー総合フリーダイヤル」0120-95-0178にお問い合わせください。